

科学技術の潮流

(182)

JST研究開発戦略センター

Rapids（リプリー、日本に対する米国ダス、東京都千代田区）の期待の高さがうかがえる。人工知能（AI）や量子科学技術は、米国の22年に12カ国を集めた政策会合を開催する動きも顕在化しつつある。21年に豪州とインドを加えた4カ国（クアッド）の枠組みで開始された「グローバル・スタートアップ・キャンパス」構想も発表された。こうした中、グローバル課題への対処、経済安全保障の確保、科学技術力の向上など多様な文脈において、国際協力を求める声が高まっている。今年、先進7カ国（G7）議長国を務める日本はこれを好機とし、米国や主要国のみならず国際社会全体に対して、新時代を見据えた、わが国ならではのビジョンを示したい。

野でも日米協力の動きが活発化している。特に量子科学技術は、米国の22年に12カ国を集めた政策会合を開催する動きも顕在化しつつある。21年に豪州とインドを加えた4カ国（クアッド）の枠組みで開始された「グローバル・スタートアップ・キャンパス」構想も発表された。こうした中、グローバル課題への対処、経済安全保障の確保、科学技術力の向上など多様な文脈において、国際協力を求める声が高まっている。今年、先進7カ国（G7）議長国を務める日本はこれを好機とし、米国や主要国のみならず国際社会全体に対して、新時代を見据えた、わが国ならではのビジョンを示したい。

去る1月13日（米国時間）、ホワイトハウスで岸田文雄首相とバイデン大統領の首脳会談が行われた。日米同盟の一層の強化が主要な目的と位置付けられ、外交や防衛面での国家安全保障が議題の中心となった。加えて、広範な安全保障課題への取り組みの観点から、科学技術面での2国間協力も取り上げられた点は注目される。

野でも日米協力の動きが活発化している。特に量子科学技術は、米国の22年に12カ国を集めた政策会合を開催する動きも顕在化しつつある。21年に豪州とインドを加えた4カ国（クアッド）の枠組みで開始された「グローバル・スタートアップ・キャンパス」構想も発表された。こうした中、グローバル課題への対処、経済安全保障の確保、科学技術力の向上など多様な文脈において、国際協力を求める声が高まっている。今年、先進7カ国（G7）議長国を務める日本はこれを好機とし、米国や主要国のみならず国際社会全体に対して、新時代を見据えた、わが国ならではのビジョンを示したい。

野でも日米協力の動きが活発化している。特に量子科学技術は、米国の22年に12カ国を集めた政策会合を開催する動きも顕在化しつつある。21年に豪州とインドを加えた4カ国（クアッド）の枠組みで開始された「グローバル・スタートアップ・キャンパス」構想も発表された。こうした中、グローバル課題への対処、経済安全保障の確保、科学技術力の向上など多様な文脈において、国際協力を求める声が高まっている。今年、先進7カ国（G7）議長国を務める日本はこれを好機とし、米国や主要国のみならず国際社会全体に対して、新時代を見据えた、わが国ならではのビジョンを示したい。

野でも日米協力の動きが活発化している。特に量子科学技術は、米国の22年に12カ国を集めた政策会合を開催する動きも顕在化しつつある。21年に豪州とインドを加えた4カ国（クアッド）の枠組みで開始された「グローバル・スタートアップ・キャンパス」構想も発表された。こうした中、グローバル課題への対処、経済安全保障の確保、科学技術力の向上など多様な文脈において、国際協力を求める声が高まっている。今年、先進7カ国（G7）議長国を務める日本はこれを好機とし、米国や主要国のみならず国際社会全体に対して、新時代を見据えた、わが国ならではのビジョンを示したい。

日米、科技協力を強化

共同で研究開発

基軸となっているのは、2021年に締結された「日米競争力・強靱性パートナーシップ」だ。このパートナーシップの下で、重要・新興技術の育成を含む経済安全保障への取り組みが進んでいる。代わりの国際協力を主導する動きも顕在化しつつある。21年に豪州とインドを加えた4カ国（クアッド）の枠組みで開始された「グローバル・スタートアップ・キャンパス」構想も発表された。こうした中、グローバル課題への対処、経済安全保障の確保、科学技術力の向上など多様な文脈において、国際協力を求める声が高まっている。今年、先進7カ国（G7）議長国を務める日本はこれを好機とし、米国や主要国のみならず国際社会全体に対して、新時代を見据えた、わが国ならではのビジョンを示したい。



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センターフェロー（海外動向ユニット） 長谷川 貴之

JST入職後、地域事業、情報事業、国際事業、日本学術振興会出向などを経て、18年より現職。米国の科学技術政策動向調査を担当。

日米・国際間で進む科学技術協力の例

重要・新興技術の研究開発

- 日米の研究機関・企業などによる次世代半導体開発
- 量子科学技術の推進に関する日米協力

科学技術力の基盤強化

- クアッド（日米豪印）・フェロシップ・プログラム
- 国際共同研究・若手研究者育成のための500億円基金
- 「グローバル・スタートアップ・キャンパス」構想

（金曜日）に掲載